

進めよう！男女共同参画

☎男女共同参画室(☎827-1107)

男女共同参画と防災について考えよう

近年、日本では台風や大雨などによる水害をはじめ、さまざまな災害が発生し、大きな被害がでています。

災害への対応力を高めるためには、人・物・環境などのさまざまな問題に対し、男性と女性が互いに

持ち味を生かし、積極的に参画して解決していくことが重要となります。

実際に災害が起きたときに、しっかりと対応ができるよう、日頃から防災について話し合う機会を作っていきましょう。

☑備蓄品や防災バッグの中身

男性・女性、家族の状況など、さまざまな立場によりそれぞれ必要なものや、あった方がいいものは異なります。また、避難所での生活は多くの人との共同生活となります。実際に災害が起きたときに困らないように、日頃から災害時に必要なものについてしっかりと考え、準備しておくことが重要です。



☑避難所での生活

避難所の運営は、市と地域住民が協力して行います。仮設トイレや更衣室、授乳室の位置や間取り、衛生用品の管理など、男女双方の視点があった方が避難所での生活環境が良くなることがあります。

また、避難所での性暴力やハラスメントの被害を未然に防ぐためにも、男女双方が避難所運営に携わることが、とても重要です。



つちうら防災ノート

☎防災危機管理課(☎826-1111 内線2271)

ペットを災害から守る準備はできていますか？

皆さんの大事な家族であるペット。大きな災害が発生し避難所が開設されたときは、「同行避難」が原則となります。



◆同行避難とは？

災害発生時にペットと同行し、避難先まで安全に避難することをいいます。避難生活では、人もペットも大きなストレスを感じます。同行避難をする場合は、ルールを守り、普段以上にペットの管理に注意を払いましょう。

同行避難をする際のルール

- 避難所へ同行避難ができる動物は、犬や猫、小鳥など、一般家庭で飼育されている動物です。特定犬や危険な動物は、同行避難できません。事前に預け先を検討しておきましょう。
- 避難所では介助犬を除き、飼い主と一緒に過ごすこと(同伴避難)はできません。決められた場所で、飼い主自身が飼育管理を行いましょ。
- ペット用のキャリーバッグやケージに入れ、ケージなどには飼い主の名前を記入しましょう。
- 緊急時のペット用品を持参しましょう。避難所にはペット用の備蓄品はありません。

◆ペットのために普段からできること

- 避難先でのトラブル防止のために、日頃からしつけをしておきましょう。
- 災害時には感染症にかかる危険性があります。ワクチンの接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。
- 災害時用のペット用品(餌、飲み物、薬、ケージ、衛生用品など)を備蓄しておきましょう。



◀ペットのための防災グッズ(例)

防災クイズ

災害時の避難先などで、子どものストレスを軽減するために備えておくといものはなんでしょう？

答えは14ページの最下部にあります。

